

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : リクルート™ IV AG

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

授乳に対する又は授乳を介した影響

水生環境有害性 短期（急性） : 区分1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分1

GHS ラベル要素

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

:

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P260 粉じんを吸入しないこと。
P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。

応急措置:

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ノバフルムロン	121451-02-3	0.5	

4. 応急措置

吸入した場合 : 緊急医療措置は必要ない。
皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15~20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
眼に入った場合 : 眼を開いたまま 15~20 分水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからは

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

- 飲み込んだ場合 : ずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 緊急医療措置は必要ない。
- 応急措置をする者の保護 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 特別な解毒剤はない。
- ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨時的処置を行う。
- 中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
- 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
- 燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない :
- 炭素酸化物
窒素酸化物 (NO_x)
ハロゲン化水素
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
- 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
- 区域から退避させること。
- 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
- 保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。
- 粉じんを吸い込まないように留意。
- 保護具を使用する。

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

- 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目 12 の環境影響情報を参照。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : なし。

保管

- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化剤

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
セルロース	9004-34-6	OEL-M (吸入性粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	8 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	10 mg/m ³	ACGIH
ノバフルムロン	121451-02-3	TWA	0.1 mg/m ³	Dow IHG

設備対策 : 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具 : 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。ほとんどの場合、呼吸用保護具は必要ない。ただし、粉塵を含む空気中では、認可された防塵マスクを使用する。

手の保護具

備考 : 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリ塩化ビニル (PVC またはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件 (切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : 安全メガネ (サイドシールド付) を着用する。
眼の不快感を引き起こす粒子に暴露する可能性がある時は、ケミカルゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 細粒

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

色 : 白

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

凝固点 : 適用なし。

沸点/ 沸騰範囲 : 適用なし。

可燃性 (固体、気体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 適用なし。
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 適用なし。
値

引火点 : 適用なし。

pH : データなし

蒸発速度 : 適用なし。

かさ密度 : データなし

自然発火点 : 適用なし。

粘度

粘度(粘性率) : 適用なし。

溶解度

水溶性 : データなし

蒸気圧 : 適用なし。

密度及び/又は相対密度

密度 : 適用なし。

相対ガス密度 : 適用なし。

爆発特性 : データなし

酸化特性 : データなし

粒子特性

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。
危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。
特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件 : 知見なし。
混触危険物質 : なし。
危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
炭素酸化物
窒素酸化物 (NO_x)
ハロゲン化水素

11. 有害性情報

急性毒性

成分:

ノバフルムロン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 備考: 粉塵への単回ばく露による有害作用はないと考えられる。
入手可能なデータによると、呼吸器への刺激は見られなかった。

LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.24 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

皮膚腐食性／刺激性

成分:

ノバフルムロン:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

成分:

ノバフルムロン:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

成分:

ノバフルムロン:

備考 : モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
関連のあるデータは得られていない。

生殖細胞変異原性

成分:

ノバフルムロン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。、動物遺伝毒性試験は陰性だった。

発がん性

成分:

ノバフルムロン:

発がん性 - アセスメント : 実験動物で発がん性が認められた。、これらの影響が生じる摂取量は、使用中の暴露による想定される摂取量の何倍も高い摂取量である。

生殖毒性

成分:

ノバフルムロン:

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

生殖毒性 - アセスメント : 人に対する生殖毒性が疑われる物質, 研究では授乳期間中の乳児に対する有害性を示す

動物試験では、生殖を阻害することを示した。、動物試験では、繁殖性を阻害することを示した。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

成分:

ノバフルムロン:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

反復投与毒性

成分:

ノバフルムロン:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性

成分:

ノバフルムロン:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

ノバフルムロン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対してきわめて高い急性毒性を示す (最も感受性の高い種では LC50/EC50 < 0.1 mg/L)。

LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)) : > 2.0 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) : > 2.00 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0003 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

試験タイプ: 流水式試験

方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 0.75 mg/l

エンドポイント: 生長率阻害

曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 100

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 100

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1.9 mg/l

曝露時間: 3 h

方法: OECD 209 試験

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 10,000 mg/kg

曝露時間: 14 d

GLP: 該当

地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50 > 2000 mg/kg)。, 物質は、混餌投与すると、鳥に対して軽度の毒性を示す(LC50 1001~5000 ppm)。

経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,000 mg/kg

曝露時間: 14 d

GLP: 該当

混餌 LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): 4,100 mg/kg

曝露時間: 10 d

GLP: 該当

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 マイクログラム/蜂

曝露時間: 48 h

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 マイクログラム/蜂

曝露時間: 48 h

GLP: 該当

リクルート™ IV AG

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/06
1.1 2024/07/05 800080004650 初回作成日: 2024/06/06

残留性・分解性

成分:

ノバフルムロン:

ThOD : 1.03 kg/kg

光分解性 : 速度定数: 8.95E-12 cm³/s
方法: 推定値。

生体蓄積性

成分:

ノバフルムロン:

n-オクタノール/水分配係数 :
(log 値)

log Pow: 4.94

方法: 推定値。

備考: 生物濃縮の可能性は高い。(BCF > 3000、Log Pow : 5-7)

土壌中の移動性

成分:

ノバフルムロン:

環境中の分布 : 備考: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5000)

オゾン層への有害性

成分:

ノバフルムロン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Noviflumuron)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. (Noviflumuron)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 956
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 956

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Noviflumuron)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当 (Noviflumuron)
備考	: Stowage category A

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令**関連法規****化審法****毒物及び劇物取締法**

非該当

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH	:	米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
Dow IHG	:	ダウ社内ガイドライン
日本産業衛生学会（許容濃度）	:	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度
ACGIH / TWA	:	8 時間、時間加重平均
Dow IHG / TWA	:	時間加重平均(TWA) :
日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-M	:	許容濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積み輸送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50

リクルート™ IV AG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/06
1.1	2024/07/05	800080004650	初回作成日: 2024/06/06

- 50%阻害濃度; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-1235

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA